届け 世界の果てまでも

令和４年１０月２１日　No．４１　文責　校長　飯久保一男

大人になるってどういうこと？

ニフティ株式会社が，今年の５月に小中学生に調査した結果です。

＜その１　大人になるってどういうことだと思う？＞

〇自分の行動に責任をもつこと。責任が伴うこと。
〇社会に出て自立をすること。自分のことは自分ですること。
〇学校という狭い世界以外の恐ろしく広い世界を見ること。
〇結婚したり，仕事をしたりすること。

＜その２　自分はこういう大人になりたくないと思うような行動は？＞

〇うそをつく。自分に甘い。だらしない。
〇自分の意見を押し付ける。
〇お酒で迷惑をかける。
〇社会のルールやマナー，法律などが守れない。

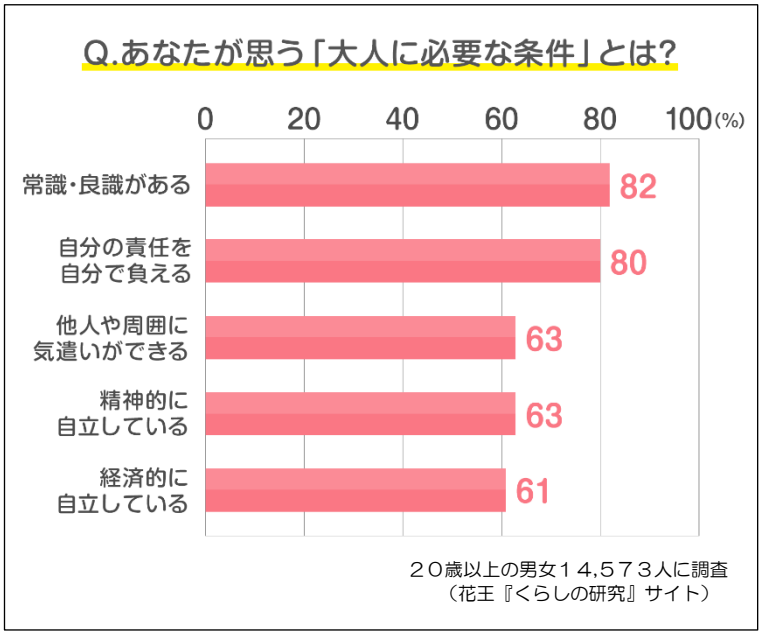
＜その３　自分もしたいと思えるような大人の行動は？＞

〇「ありがとう」「ごめんなさい」を素直に言える。悪いことをしたら謝る。
〇調子に乗らない。
〇気配りができる。
〇常に笑顔でいる。
〇選挙に行く。働く。社会に貢献する。
〇誰にでも平等で，まんべんなく優しくする。
〇思いやりがある。見返りを求めず人に親切にする。困っている人の支援をする。

子どもたちが,「大人」をどのように考えているのか，どのように見ているのかがよく分かる調査結果です。「こういう大人になりたくない」というモデルは，身近な大人かもしれません。また，「自分もしたいと思える大人の行動」のモデルは，身近な大人だと思われます。子どもたちは，大人のいい面，よくない面の両方を見ています。そんな大人の姿から，自分が大人になったときの理想像を考えているのです。

＜その１＞から　**大人になることは「責任」をもつこと，「自立」すること**と考えていることが分かります。
＜その２＞から　**周りの迷惑になる言動をする大人になりたくない**と考えていることが分かります。
＜その３＞から　周りとの関わりが読みとれます。大人は**自分のことだけではなく，周りへの責任**もあり，**自立している大人なら周りへの公平な思いやりをもつ**べきだと考えていると思われます。

歳を重ね，時が経てば，誰でも大人になります。しかし，外側（体）だけ大人になっても，内側が子どものままでは，＜その１＞＜その３＞にあげられている大人ではありません。



左のアンケート結果のグラフを見ると，

・常識，良識　　・自己責任

・周りへの気遣い　・精神的自立

と，上位５項目中４項目が内面的な項目となっています。大人に必要な条件には，内面が大切だと考える人が多いことが分かります。

小学校は，これらの内容を少しずつ学んでいく場所です。櫛形地区は，小中一貫教育に取り組んでいますので，９年間の義務教育を同じ方針で取り組む中で，子どもから大人に育っていきます。学習を積み重ね，様々な活動や行事などを積み重ねて，心身ともに大人になってほしいと思います。

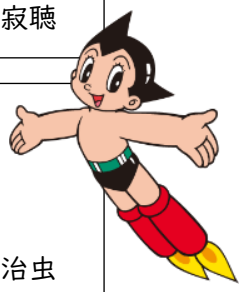
体の成長と同じように，内面の成長にも個人差があります。失敗をしたり，悔しい思いをもったりしながら，大人へと成長していきます。そんな子どもたちに寄り添い，励まし，付き合ってやるのが大人の役割だと思うのです。そう考えると，下級生や弟・妹などの年下の子どもに寄り添い，励まし，付き合ってやれる子どもは，大人になってきたということです。

成年年齢が今年の４月１日から，１８歳に引き下げられました。成年の定義が見直されるのは約１５０年ぶりだそうです。

童謡「赤とんぼ」は，三木露風が大正１０（１９２１）年に作詞をし，山田耕筰が昭和２（１９２７）年に作曲をしました。その歌詞の三番には“十五で姐（ねえ）やは 嫁に行き”という歌詞があります。この歌のつくられた大正から昭和初期にかけては，１５歳でお嫁に行くことは普通であったのです。古くは奈良時代から「男子１５歳，女子１３歳が成年」とされてきました。今では「人生８０年時代から人生１００年時代へ」といわれますが，長い間「人生５０年」といわれる時代が続いていましたので，男子１５歳，女子１３歳が成年とされてきたことに納得します。それにしても，男子１５歳は中学３年生，女子１３歳は中学１年生です。その時代であれば，６年生の女子は，来年には，成人式を迎え，結婚もできる年齢だったのです。

子どもと目線を同じにして対等に話をしてください。
大人は皆，上からものを言い過ぎます。
世の中は生きる価値があると感じてもらえるように，大人が努力しましょう。

瀬戸内寂聴



「ダメな子」とか「わるい子」なんて子どもは，ひとりだっていないのです。
もし，そんなレッテルのついた子どもがいるとしたら，それはもう，
その子たちをそんなふうに見ることしかできない大人たちの精神が貧しいのです。

手塚　治虫

大人ってかわいそうだね。
自分より大きなものがいないもの。
よりかかって甘えたり，しかってくれたりする人がいないんだもの。

ドラえもん（藤子・Ｆ・不二雄）